

会 報

鳥 取

第 11 号

2004年 8月



鳥取県岩美町蕪島の棚田

目次	ごあいさつ	2	健康シリーズ⑩	12~13
	平成15年度通常理事会・総会開催	3	市町村合併に伴うシルバー人材センター統合の経過	14
	平成15年度事業実施状況	3~4	高齢者等の雇用の安定等に関する法律の一部を改正する法律の概要	15
	平成16年度事業実施状況	5~7	シルバー人材センターの紹介	16~17
	平成16年度事業計画	7~9	会員の広場・センターの話題	18~20
	連合会役職員の異動	9	講習会に参加して	20~21
	平成15年度シニアワークプログラム事業の実施状況	10		
	平成16年度シニアワークプログラム事業の実施計画	11		

社団法人 鳥取県シルバー人材センター連合会

ごあいさつ

今こそ、豊富な経験が地域
で求められています



鳥取県商工労働部
労働雇用課長

米田 裕子

平成十六年四月から労働雇用課の課長に就任いたしました。会員の皆様におかれましては、日ごろからシルバー人材センターの各種事業を通じて、本県の高齢者の方々の生きがいづくりなどに御尽力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、御承知のとおり、鳥取県でも高齢化が急速に進んでおり、県民の方々のおよそ四人に一人が六十五歳以上の方となっております。こうした状況の中、「地域の高齢者が共に働き、共に助け合う」ことを目指すシルバー人材センターに対する期待が地域の中にもますます高まっております。

昨年には、気高町、三朝町、溝口町に新たにシルバー人材センターが設立され、県内三十九市町村のうち三十市町村に設置されるまでになりました。鳥取県におけるシルバー人材センターの設置率は、全国平均を上回って

いるところですが、県としても全市町村にシルバー人材センターが設置されるよう可能な限りの支援を引き続き行っていきたいと思っております。

さらに、今年度は、いよいよ県内の多くの市町村が合併の期日を迎えます。これに伴って、県内のシルバー人材センターでは、さらに法人化に向けて進められております。

地域の再生が求められ、地域を再発見し地域の自立に向けて、今まで以上に高齢者の熟練の技、経験が必要とされている今こそ、シルバー人材センターが地域社会の再生へ重要な核となり、多くの会員の方が生き生きと活躍される場となることを願っております。

末筆ではございますが、貴連合会及び会員の皆様方の御発展と御活躍を祈念申し上げ、御挨拶とさせていただきます。

事務局長就任に当たって



(旧)鳥取県シルバー人材
センター連合会

事務局長 仲村 一男

本年四月一日付けを持ちまして鳥取県シルバー連合会の事務局長に就任いたしましたので、一言ご挨拶を申し上げます。

前任の森事務局長は本連合会の設立に携わっ

て以来、卓越した見識と経験で本連合会の発展に尽くしてこられ敬意を表する次第であります。

その後任となりますが、微力ながら一日でも早く連合会の事業が円滑に推進できますよう努力してまいり所存でございますので、ご指導の程よろしくお願いいたします。

さて、鳥取県の六十五歳以上の高齢化率は二十二、五％と全国で第七位の高齢県であり、全体的にはそれだけ健康で働く意欲のある高齢者の方の比率が高いと推測されるところで、この方々がこれまで培ってこられた経験や能力を生かしながら、積極的に社会参加をしていくシステムをつくるのが重要であります。高年齢者を取り巻く雇用就業環境は、依然として厳しい状況であります。このような中で高齢者の就業ニーズ等を満たすことが、シルバー連合会を始め各シルバー人材センターに課せられた役割であると思っております。

現在、市町村合併に併せて、シルバー人材センターも統合・再編の協議が進められています。また、国・地方の財政運営は一段と厳しい中、シルバー人材センター事業の運営も更に厳しさが予想されるところです。このような時期に連合会事務局を担当することになり、その責務の重大さを感じております。

今後とも、シルバー事業の一層の発展のため、皆様方のご指導、ご協力をお願い申し上げます。

平成十五年度

通常理事会・総会開催

理事会

平成十五年度第二回目の通常理事会を三月二十九日倉吉シティホテルに於いて、会長以下全員の出席のもとに開催しました。

当日審議された議案は次のとおりで、いずれも原案どおり承認されました。

- 第一号議案 給与規程の一部変更(案)について
- 第二号議案 旅費規程の一部変更(案)について
- 第三号議案 連合会参与設置規程の制定について
- 第四号議案 平成十五年度収支補正予算書(案)について
- 第五号議案 平成十六年度事業計画(案)について
- 第六号議案 平成十六年度予算書(案)について
- その他

通常総会

平成十五年度第二回通常総会を三月二十九日通常理事会に引き続き、倉吉シティホテルに於いて開催しました。



総会には、正会員二十五シルバー人材センター中、二十四シルバー人材センターの出席のもと、来賓として鳥取労働局小川高齢者対策担当官の出席をいただき、議長に(社)智頭町シルバー人材センター理事長の石谷文一氏を選出し議案の審議を行いました。

全て、原案どおり承認されました。
第一号議案 給与規程の一部変更(案)について

- 第二号議案 旅費規程の一部変更(案)について
- 第三号議案 連合会参与設置規程の制定について
- 第四号議案 平成十五年度事業計画(追加案)について
- 第五号議案 平成十五年度補正予算書(案)について
- 第六号議案 平成十六年度事業計画(案)について
- 第七号議案 平成十六年度予算書(案)について
- 報告事項 新規会員加入について
- その他

平成十五年度

事業実施状況

経験交流大会の開催

平成十六年一月二十七日(火)午前十時三十分から倉吉シティホテルに於いて、連合会設立五周年記念事業と併せ平成十五年度経験交流大会を開催しました。

県内各シルバー人材センターの役職員・会員、又各市町村の担当者の方々総勢百八十名余りの出席のもと来賓に地元倉吉市の長谷川市長をお迎えし、基調講演には鳥取県知事に



よる「地域の課題と高齢者への期待」と題して講演をいただき盛大に開催することができました。

また、(社)千葉県シルバー人材センター連合会の小山内巨氏の「シルバー事業に思うこと」と題して講演をいただき、その後地元(社)米子広域シルバー人材センター宇野治巳事務局長の「シルバー人材センター事業の今後の課題について」の事例発表があり、そ



の後質疑・応答、意見交換を行い盛会のうち閉会しました。



福祉・家事援助サービス 推進事業職員研修会

平成十六年二月二十三日(月)倉吉市において、各拠点シルバー人材センターの福祉・家事援助サービス事業の担当理事並びに担当職員二十一名の参加のもと開催しました。

研修内容は、全シ協主催の指導者養成研修会の報告、各拠点センターの取り組み状況、ビデオによる家事援助サービスの実態を鑑賞し、最後に意見交換を行いました。

第二回就業機会開発推進委員会開催

平成十五年度第二回の就業機会開発推進委員会を二月十九日(木)倉吉市に於いて、連合推進委員十二名の出席のもとに開催しました。

会議では、平成十五年度の総括を行い、今後の連合としての取り組み方などについて話し合われました。

第二回安全就業推進委員会開催

今年度第二回の安全就業推進委員会を二月十八日(木)推進委員十二名が出席し第二回の安全就業推進委員会を開催しました。

会議では、連合の平成十五年度実施状況、賠償責任保険及びその他の損害保険等を協議し、平成十六年度に向けた実施計画等を協議しました。

平成十六年度事業実施状況

第一回通常理事会

平成十六年度第一回通常理事会を五月三十一日(月)米子コンベンションセンターに於いて開催しました。

理事十二名の出席のもと会長を議長として議事の審議に入りました。

付議された議案は次のとおりで、いずれも原案どおり承認されました。

第一号議案 平成十五年度事業報告及び収

支決算報告について

第二号議案 平成十六年度収支補正予算書

(案)について

第三号議案 理事の辞任に伴う取扱いにつ

いて

その他

第一回通常総会

平成十六年六月十一日(金)ホテルハーベストイン米子に於いて、平成十六年度第一回通常総会を開催しました。

当日は、鳥取労働局から只野祐局長、高長信一職業安定部長、小川義昭高齢者対策担当官、又鳥取県から商工労働部労働雇用課小谷



修雇用政策室長補佐のご臨席を賜り、連合会の会員シルバー人材センターから理事長、事務局長等三十四名の出席のもと、川口会長の挨拶、来賓の祝辞の後、議長に川口会長を選



出し議事の審議に入りました。

審議された議案は次のとおりで、いずれも原案どおり承認されました。

議案の最後には、現理事の福井春光氏の辞任に伴う新役員に「(社)倉吉市シルバー人材センター」理事長 野島完氏」が選任されました。

第一号議案 平成十五年度事業報告及び平

成十五年度収支決算報告につ

いて

第二号議案 平成十六年度収支補正予算書

(案)について

第三号議案 理事の辞任に伴う選任につ

て

その他

連合事務局長会議開催

平成十六年度第一回の鳥取県シルバー人材センター連合の事務局長会議を去る六月九日(水)に鳥取厚生年金会館で開催し、連合の平成十五年度事業の実施状況並びに平成十六年度の事業計画について協議し、平成十六年度第一回都道府県連合事務局長会議の内容等を説明し、最後に労働者派遣事業について活発な意見交換を行い閉会しました。

安全就業推進委員会開催

平成十六年度第一回の安全就業推進委員会を去る七月二十一日(水)倉吉市に於いて開催しました。議題は平成十五年度実施結果について反省し、平成十六年度の安全就業推進実施計画を審議しました。



安全就業研修会の開催

安全就業は、シルバー事業にとって最も重要な課題であることから、去る七月二十九日(木)倉吉シティホテルにおいて、県下各シルバー人材センターより役員・会員八十九名の参加のもと安全就業研修会を開催しました。



冒頭、安全就業の表彰式を行い、基調講演に鳥根県松江市シルバー人材センターの副理事長富永好正様から「安全適正就業について」についての基調講演をいただき、その後、(社)鳥取市シルバー人材センターの田中明博次長及び(社)倉吉市シルバー人材センター中林正樹事務局長から安全就業について事例発表があり、盛会の内に終了しました。

安全就業標語の表彰作品

◎ 優秀作品

安全就業 言うは易いが まず実践

広瀬 瑞恵

(社)倉吉市シルバー人材センター

◎ 入選作品

報・連・相 守ればあなたの身も守る

吉良 多美子

(社)米子広域シルバー人材センター

やれ恐い 脚立の天のり 怪我するぞ

出口 政義

(社)倉吉市シルバー人材センター

基本事項 守るその身が 身を守る

堀場 正雄

(社)鳥取市シルバー人材センター



標語の表彰

◎ 佳作作品

やれやれの 一寸と油断が 事故のもと

木嶋 康雄

(社)倉吉市シルバー人材センター

安全は 一人ひとりの 自覚から

井上 満洲子

(社)南部広域シルバー人材センター

安全は 基本動作の 積み重ね

山中 国夫

(社)倉吉市シルバー人材センター

無理するな 焦る心が 怪我の元

田中 真一

(社)米子広域シルバー人材センター

ちょっと待て 指差し確認 安全就業

山田 章

(社)南部広域シルバー人材センター

ゆるめるな 各自が安全 心のベルト

森本 恒善

(社)鳥取市シルバー人材センター



平成十六年度 事業計画

基本計画

わが国の人口は、諸外国に例のない速さで高齢化が進行し、二千年には人口三、四人に一人は六十歳以上の高年齢者になるものと見込まれている。

更に、高齢化の進行は、労働力人口の減少による社会経済活力の低下や年金、医療、福祉面での社会的負担の増大等の懸念をもたらしている。

こうした情勢下にあつて、社会全体にとつて活力ある高齢化を推進していくためには、高齢者の積極的な社会参加を促し、働く意欲のある高齢者にはその能力、経験を活かし、働くことができる多様な雇用・就業機会を確保することが重要な課題である。

シルバー人材センターは、定年退職者等高齢者を会員として、地域社会に密着した臨時的かつ短期的又はその他の軽易な仕事を数多く提供し、高齢者の就業分野を支え有効な社会システムとしてその役割を果たしてきた。

今後、高齢化の進展によつて、高齢者の取り巻く社会経済環境の変化と共に、雇用・就業を始め、働くことを志向する高齢者が増加する一方で、就業ニーズも更に多様化することが予想される。このため、シルバー人材セ

ンターは、連合会、各拠点センターが一体となつてこの対策に取り組み事業の発展を目指す。

事業実施計画

一 安全・適正就業推進事業

シルバー事業の基本である安全就業・適正就業を推進するため次の事業を実施する。

- ① 安全就業推進委員会の開催（年二回）
シルバー連合全域の安全就業推進計画を策定する。
- ② 安全パトロール指導員の配置
拠点センターのパトロール及び相談
- ③ 安全就業研修会の開催
各拠点センターの職員、推進員等の研修会の開催
- ④ 適正就業の徹底

二 普及啓発事業

拠点センター会員の充実を図るとともに、シルバー人材センターの趣旨を広く地域社会に浸透させるため次の事業を行う。

- ① 連合会機関誌の発行（年二回）
連合会の諸行事、拠点シルバーの活動状況等の情報を提供する。
- ② シルバー祭の開催（一会場）
「いきいき健康福祉まつり」に参加し、シルバー事業の普及啓発に努める。
- ③ 普及啓発用リーフレットの作成・配布

会員用、発注者用の普及啓発のリーフレットを作成配布し、広く周知を図る。

三 就業開拓等事業の推進

拠点センター会員の希望に応じた多様な就業機会を開拓し受注拡大を図るため、次のとおり実施する。

- ① 就業開拓推進員の配置
就業機会の確保及び広域的な需給調整を目的として推進員を配置する。
- ② ホワイトカラー就業機会開発員の配置
連合にホワイトカラー就業開発員を配置し、ITを活用したホワイトカラー職種に係る仕事の確保・提供体制を整備し、市町村の区域を越えた広域地域の需給調整を推進し、ホワイトカラーの就業機会を促進する。

四 交流研修事業

シルバー事業の正しい理解を習得し、事業の充実・発展を期するため役員、会員及び職員を対象として研修会を開催する。

- ① 経験交流大会
各活動拠点シルバー人材センターが、それぞれの事業運営上直面している課題や問題点について経験交流を通じて、共通認識を培っていく。
- ② 実務担当者交流研修会（中国五県）
現在、シルバー事業の業務は複雑化・多様化し、業務量は増大している。そこで、



事業運営における問題等に対応し、魅力あるセンターづくり、効果的な事業運営を目指す。

- ③ 役員交流研修会（中国五県）
超高齢社会を目前にして、シルバー人材センター事業の更なる充実・発展を期するため、役員としての自覚を一層深め、地域から愛される魅力あるセンターづくりに向けて研修する。
- ④ 連合役員研修会
全シ協等が実施する研修会に積極的に参加し、専門的知識を習得する。

五 無料職業紹介事業

無料の職業紹介事業を実施するセンター間で、取扱いに差違が生じないよう打合せを開催する。

六 福祉・家事援助事業

地域社会の高齢化と共に、福祉・家事援助サービス事業は今後益々需要が増加することが期待される。このため拠点シルバー人材センターが地域社会のニーズに充分対応できるよう情報の提供、指導、助言を行う。

- ① 研修会の開催

活動拠点のコーディネーター及び関係職員の研究会を実施し充実を図る。

② 普及啓発

福祉・家事援助サービス事業の情報の収集・提供を図る。

七 指導相談事業

全シ協並びに他のシルバー人材センター連合等と情報交換を行って、有用なノウハウを提供する。又新規法人シルバー人材センター及び必要拠点センターに対し定期的、随時に巡回指導を行う。

八 高齢者生活援助サービス事業

平成十五年度に引き続き介護サービスに替わる事業として実施する。

実施シルバー

- (社) 鳥取市シルバー人材センター
- (社) 米子広域シルバー人材センター
- (社) 倉吉市シルバー人材センター

九 高齢者活用子育て支援事業

高齢者に就業機会を確保・提供する一環として、就学前の幼児に対する保育施設からの送迎、世話などの育児支援や、就学児童に対する放課後・土曜学習、生活指導の学習支援等の体制整備を、市町村との連携のもとに実施する。

実施シルバー

- (社) 鳥取市シルバー人材センター

(社) 米子広域シルバー人材センター
(社) 倉吉市シルバー人材センター

十 シニアワークプログラム事業

高齢者の雇用就業機会の確保を目的に、高齢求職者等を対象に地域の事業主団体等の協力のもとに雇用を前提とした技能講習、合同面接会等を実施して雇用就業機会の確保を図る。

① 啓発事業

事業主団体に対して、高齢者の雇用就業について理解を求めると共に、SP事業への参加・協力を要請する。又、ポスター、リーフレット、パンフレット等を配布しSP事業のPR活動に努める。

② 総合的雇用就業情報提供事業

地域高齢者に対して、技能講習の案内と募集、職業相談、求人情報の提供を行う。また事業主に対して求人相談・求人開拓、合同面接会の案内及び求職者の情報提供を行う。

③ 技能講習事業

- 第一種技能講習 十一回
- 第一種介護講習 六回
- 第二種技能講習 九十六回 (各拠点実施)
- 第二種介護講習 二十六回 (各拠点実施)

④ 職場体験講習事業

技能講習修了者等を対象に、事業主団体の事業所において職場体験講習を実施する。

⑤ 職業紹介事業

技能講習を終了した高齢者を主たる対象として公共職業安定所との共催により、合同面接会を実施する。

連合会役職員の異動

理事

新任

理事 野島 完 六月十一日就任
(社)倉吉市シルバー人材センター理事長

退任

理事 福井 春光 六月十日辞任
元(社)倉吉市シルバー人材センター理事長

職員

新任

事務局長 仲村 一男 四月一日付
相談員 三澤 愛子 四月一日付

退職

事務局長 森 皎 三月三十一日付
相談員 角森 千秋 三月三十一日付

平成15年度シニアワークプログラム事業の実施状況

シニアワークプログラム事業は、平成10年度から全国都道府県シルバー人材センター連合会が、国からの委託事業として、高齢者の雇用・就業機会の確保を促進することを目的に、技能・介護講習を実施しております。

平成15年度は技能講習11回、介護講習では3級課程3回、2級課程4回を実施しました。

技能講習第1種

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	申込者	受講者	修了者
観光ガイド養成	倉吉会場	06.18～06.26	7日	24名	24名	21名
植栽管理	米子会場	06.23～07.01	7日	20名	20名	17名
パソコン（初級）	鳥取会場	07.07～07.11	5日	22名	20名	20名
パソコン（中級）	倉吉会場	07.23～07.31	7日	23名	20名	19名
パソコン（初級）	境港会場	08.04～08.08	5日	28名	20名	18名
塗装	倉吉会場	09.01～09.05	5日	20名	18名	18名
接客サービス	米子会場	09.08～09.12	5日	23名	18名	17名
パソコン（中級）	鳥取会場	10.02～10.10	7日	24名	20名	20名
オフィスクリーニング	米子会場	10.20～10.24	5日	19名	19名	17名
オフィスクリーニング	鳥取会場	11.10～11.14	5日	23名	20名	20名
パソコン（初級）	米子会場	02.16～02.20	5日	23名	20名	19名

介護講習第1種「3級課程」

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	申込者	受講者	修了者
訪問介護員養成講座	鳥取会場	06.10～06.27	10日	19名	15名	13名
訪問介護員養成講座	米子会場	07.09～07.29	10日	43名	20名	20名
訪問介護員養成講座	境港会場	10.08～10.28	10日	24名	19名	19名

介護講習第1種「2級課程」

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	申込者	受講者	修了者
訪問介護員養成講座	智頭会場	06.17～07.23	20日	19名	18名	18名
訪問介護員養成講座	鳥取会場	08.19～09.26	20日	20名	19名	18名
訪問介護員養成講座	倉吉会場	10.01～11.07	20日	15名	14名	14名
訪問介護員養成講座	米子会場	11.06～12.12	20日	35名	20名	17名



平成16年度シニアワークプログラム事業の実施計画

シニアワークプログラム事業は、(社)鳥取県シルバー人材センター連合会が主催する第1種講習と各活動拠点(各シルバー)が主催する第2種講習があります。

平成16年度の第1種講習は技能講習11回、介護講習では3級課程4回、2級課程2回の実施を計画しました。

技能講習第1種

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	受講者	修了者
観光ガイド養成	倉吉会場	06.16~06.24	7日	20名	19名	14名
パソコン(初級)	米子会場	06.21~06.25	5日	20名	22名	21名
パソコン(中級)	倉吉会場	07.01~07.09	7日	20名	20名	19名
パソコン(初級)	境港会場	08.02~08.06	5日	20名	21名	名
パソコン(実務)	鳥取会場	09.13~09.17	5日	20名	名	名
植栽管理	米子会場	09.30~10.08	7日	20名	名	名
塗装	倉吉会場	10.18~10.22	5日	20名	名	名
オフィスクリーニング	米子会場	10.25~10.29	5日	20名	名	名
接客サービス	鳥取会場	11.15~11.19	5日	20名	名	名
パソコン(中級)	鳥取会場	12.01~12.09	7日	20名	名	名
接客サービス	米子会場	01.24~01.28	5日	20名	名	名

介護講習第1種「3級課程」

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	受講者	修了者
訪問介護員養成講座	米子会場	07.07~07.27	10日	20名	20名	19名
訪問介護員養成講座	鳥取会場	07.14~08.03	10日	20名	20名	17名
訪問介護員養成講座	倉吉会場	08.24~09.10	10日	20名	名	名
訪問介護員養成講座	境港会場	09.29~10.19	10日	20名	名	名

介護講習第1種「2級課程」

講習名	実施地区	講習日程	講習日数	定員	受講者	修了者
訪問介護員養成講座	鳥取会場	10.06~11.12	20日	20名	名	名
訪問介護員養成講座	米子会場	11.05~12.14	20日	20名	名	名



健康シリーズ⑩

心原性脳塞栓症



山陰労災病院神経内科部長
佐藤 武夫

脳卒中は日本人の三大死因の一つであり、いったん発症すると命を救えたにしても、何らかの後遺症を残してその人の一生を左右する事が多い病気です。近年、診断技術と病気の成り立ちに関する理解が進んで、かなりの程度脳卒中発症を予防する事が分かってきました。脳卒中発症予防のポイントは食生活の改善と適度な運動を行う生活習慣を確立すること、必要な薬を服用することです。初めに、最近経験した一例を示してから、これらの事について述べます。

症例

八十五才、女性。高血圧症にて近医で通院加療中の所、脈が飛んで、心電図検査にて心房細動を指摘されていた。動悸や息切れはたまにしか無く、通常は元気で畑仕事などをしてきた。平成十六年二月のある日、午前十一時頃、コタツに入っていて、急に右側に倒れ

て話せなくなる。すぐに救急車が呼ばれて当院に搬入された時、意識は無く両眼球は左方向を向き右半身に強い麻痺がみられた。ただちに頭部CT検査を行い、出血巣が無いことを確認して、大きな脳梗塞と診断した。高齢であることより、血栓溶解療法は行わないで、補液と脳保護剤や脳浮腫改善剤を使用した。これらの保存的療法にて何とか救命しえたが、現在は手足の動きは無く話しかけにも応じない状態で寝たきりであり、胃管を通してチューブで栄養をとっている。

この症例は脳卒中全体の中ではどのように位置づけられるでしょうか。脳卒中の分類とついでに危険因子及び予防法について簡単に述べます。忙しい人は表を見て次項は飛ばして下さい。

脳卒中の分類と危険因子・予防

脳卒中は出血性病変と虚血性病変に分けられ、前者には脳出血とクモ膜下出血等があり、後者にはラクナ梗塞、アテローム血栓性脳梗塞、心原性脳塞栓症等があります。

脳出血は高血圧症との関連が強く、血圧を正常域（百三十／八十五以下）にコントロールすることにより発症を抑制出来ます。減塩とバランスの良い食事及び適度な運動を行う生活習慣に改めて、必要なら降圧剤を服用します。

クモ膜下出血は脳動脈にできた瘤が破裂し

て発症しますが、脳動脈瘤と生活習慣との関連はありません。たぶんに持って生まれた素因が関連します。自分の親兄弟の誰かにクモ膜下出血を発症した人がいて、四十才を過ぎたら脳ドックを受けた方が良いでしょう。このような人の二割近くは未破裂脳動脈瘤を有しているとされ、破裂前に脳外科的手術を行うクモ膜下出血を未然に防ぐことが出来るからです。

脳梗塞の三大病型にもまたそれぞれに関連する危険因子と予防法があります。

ラクナ梗塞は脳実質内に入っている穿通枝という細小動脈が詰まって発症します。先に述べた脳出血は同じ穿通枝動脈が破れて発症するものであり、ラクナ梗塞もまた高血圧症と強い関連があります。脳出血と同様、高血圧症のコントロールが重要です。近年、高血圧のコントロールが良好に行われるようになり、ラクナ梗塞と脳出血はともに減りつつあります。

アテローム血栓性脳梗塞は胸部大動脈から頸部動脈を経て頭蓋内に至る動脈血管のどこかに粥腫（アテローム）と呼ばれる血管内膜の部分的肥厚が出来て、粥腫に着いている血栓が剥がれて下流の脳血管を塞いだり、頭蓋内血管の粥腫が増大してその場で血管を塞いで発症します。前者は従来、動脈原性脳塞栓症と呼ばれていたものです。粥腫の形成にはいずれも糖尿病や高脂血症が強く関連し、食生活の欧米化により本タイプの脳梗塞は増え

つつあります。高カロリーや高脂肪食を控えて適度な運動をすること、必要なら血糖降下剤や脂質改善剤を服用することで本タイプの脳梗塞は予防出来ます。アテローム血栓性脳梗塞の再発予防には抗血小板剤が有用です。更に、頸動脈に出来た粥腫は外科的に取り除くことが出来て、近年、習熟した医療施設での手術成績は良好であり、脳梗塞の発症予防に貢献しています。

心原性脳塞栓症は種々の原因で心腔内に出来た血栓が剥がれ飛んで脳血管を詰まらせて発症します。何らかの原因で心腔内に血流の乱れがあると局所の血液凝固能が高まり血栓を作りやすくなります。以前は心臓弁膜症を有していた人に多かったが、心臓弁膜症自体の有病率が減少した近年では、非弁膜症性心房細動という不整脈を有している人や、心筋症、心筋梗塞後の人に多くみられるようになりました。故小淵首相や長嶋茂雄さんが患った病気として、脳梗塞の三大病型のなかで、近年、本タイプが占める割合は増えつつあります。

急を要する心原性脳塞栓症の予防

最初に示した症例の病名は心原性脳塞栓症であり、その原因は非弁膜症性心房細動です。心房細動があると左心室や左心耳に血流の乱れを生じて血液凝固能が高まり、その場で血栓を形成します。非弁膜症性心房細動は心臓の調律を司る洞結節が変性・劣化して生じ、

人体の老化が関与します。心房細動それ自体の是正は困難ですが、心原性脳塞栓症の予防には、心腔内で高まっている血液凝固能を低下させる薬剤の服用が勧められます。

心原性脳塞栓症は他のタイプの脳梗塞に比べて死亡する危険や症例に見られるように救命できても重篤な後遺症を残すことが多いものです。しかも発症直前まで元気でいた人が大部分であり、社会的にも損失は大きいと言えます。それ故、長寿・高齢社会を反映して増えつつある心原性脳塞栓症の一次予防は急を要します。心腔内血栓の有無は心エコー検査で確認できます。非弁膜症性心房細動をはじめ心腔内に血栓を形成しやすい状態にある人はワーファリンを内服して、血液凝固能をPT（INR）値で一、六〜二、六に抑制しておくとういでしょう。脳梗塞を発症してあれこれ嘆く前には是非心がけて欲しいものです。

時は脳なり

不幸にして、脳卒中を患ったら、少しでも早く脳卒中の救急診療が出来る病院に搬送してもらえらるようになりましょう。早期に的確な診断を行い脳卒中の種類に応じた治療を早期に開始する事は大変重要です。脳梗塞の場合、早期治療による脳血流の再開と脳細胞の保護が可能となっていますし、中でも心原性脳塞栓症においては発症は急激であり、目の前の人が突然おかしくなる場合が多く、発症時刻

は分単位で明らかです。患者様の状態にもよるが、発症後三時間ないし六時間以内に血栓溶解療法を行い脳血流を再開させると脳神経細胞の死滅を減らし、病気の予後を改善します。まさに、心原性脳塞栓症においては**時は脳なり**といえます。

皆さん、敵を知り、**己に克ち**、脳卒中とおさらばしましょう。

表 脳卒中の種類と危険因子・予防

種類	危険因子	予防
脳出血	高血圧	減塩食、降圧剤
クモ膜下出血	脳動脈瘤	脳ドックで早期発見
ラクナ梗塞	高血圧	減塩食、降圧剤
アテローム血栓性脳梗塞	高脂血症、糖尿病	高カロリー・高脂肪食を避ける、適度な運動をする、抗血小板剤
心原性脳塞栓症	非弁膜症性心房細動 心筋梗塞、他	ワーファリン

市町村合併に伴うシルバー人材センター統合の経過

県下の市町村合併も合併に向けて事務処理が進められているところでありますが、それに伴いシルバー人材センターにおきましても「一市町村一シルバー人材センター」の原則に基づいて、統合の準備が各センター間で行われています。



（社）鳥取市・国府町・気高町各シルバー人材センター理事長、委員長

◎（社）鳥取市シルバー人材センター

平成十五年七月からセンターの統合に向けて協議を重ね平成十六年六月十日（社）鳥取市シルバー人材センター・国府町シルバー人材センター・気高町シルバー人材センターの三センターで統合の協定が結ばれました。統合日は、平成十六年十一月一日の予定です。

◎（社）湯梨浜広域シルバー人材センター

羽合町シルバー人材センターと東郷町シルバー人材センターは平成十六年一月一日から、広域シルバー人材センターとして発足し、平成十六年度から国庫補助対象団体となりました。

今後、泊村を含めた町村合併が予定されており、合併後は社団法人湯梨浜シルバー人材センターとして発足する予定です。

◎北条町シルバー人材センターと

大栄町シルバー人材センターの統合

北条町・大栄町の合併が平成十七年十月一日に予定されています。

去る六月十七日に第一回の統合に向けての会議が開催されました。今後、新しい法人センターを目指して協議が重ねられていく予定です。

です。

◎大山町シルバー人材センター

大山町の合併が、平成十七年三月一日に予定されていることから、大山町・名和町・中山町のシルバー人材センターでは、町合併に合わせ統合の協議を重ね法人シルバー人材センターを設立する予定です。

◎（社）南部広域シルバー人材センターと

溝口町シルバー人材センターの統合

南部広域シルバー人材センターと溝口町シルバー人材センターでは、平成十六年八月一日を目標に溝口町シルバー人材センターを南部広域シルバー人材センターへ編入する形で合併の協議が進められています。

合併後は、四町（町の合併後は二町）による広域シルバー人材センターとなる予定です。

◎琴浦町シルバー人材センター

東伯町シルバー人材センターと赤碕町シルバー人材センターでは、平成十六年九月一日の統合、法人化を目指して協議が進められています。

高齢者等の雇用の安定等に関する法律の一部を改正する法律の概要

高齢者の高い就労意欲に応え、65歳まで働ける労働市場を整備

- ◎ 高齢者等の雇用の安定等に関する法律の一部を改正する法律が、平成16年6月5日、国会において成立し、同年6月11日に公布されました。
その概要は、次のようになっています。

【背景】

少子高齢化の進展（労働力人口の減少）の中での高齢労働力の活用
＜経済社会の活力の維持＞

年金支給開始年齢の引き上げの中での、生計維持のための収入確保、社会保障制度の支え手の確保



高齢者が社会の支え手としての活躍ができるよう
65歳まで働ける労働市場の整備が必要

【改正の内容】

① 65歳までの雇用の確保

- 65歳までの定年の引上げ、継続雇用制度の導入等を求める。
ただし、労使協定により継続雇用制度の対象となる労働者に係る基準を定めたときは、希望者全員を対象としない制度も可能とする。
なお、施行より政令で定める日までの間（当面大企業は3年間、中小企業は5年間）は、労使協定ではなく就業規則等に当該基準を定めることを可能とする。
- 定年の引上げ、継続雇用制度の導入等の年齢は年金支給開始年齢の引上げに合わせ、2013年度（平成25年度）までに段階的に引き上げる。

② 中高年齢者の再就職の促進

- 労働者の募集・採用にあたって、事業主が上限年齢を設定する場合に、その理由の明示を求める。
- 事業主都合で離職を余儀なくされる高齢者等に対して、事業主がその職務経歴や能力等を記載した書面を交付することを求める。

③ 多様な就業機会の確保

- シルバー人材センターが臨時的かつ短期的な又は軽易な業務に係る労働者派遣事業を行う場合について、特例（許可を届出とする）を設ける。

【施行期日】

- ②及び③については、公布の日から6月以内の政令で定める日
①については、平成18年4月1日

『年齢引き上げの実施スケジュール』

H.18.4～19.3	19.4～22.3	22.4～25.3	25.4～
62歳	63歳	64歳	65歳

鳥取労働局／公共職業安定所（ハローワーク）

シルバー人材センターの紹介

名和町シルバー人材センター

事務局長 安藤 隆博

名和町は鳥取県西部に位置し、北は隠岐の島、弓浜半島、島根半島の浮かぶ日本海、南は秀峰大山の北壁を望みロケーションが素晴らしい町です。また明治三十五年山陰で初めて、境港と御来屋間に鉄道が開通した御来屋駅のある町です。

観光スポットは、後醍醐天皇を助けた名和

長年公を祀った名和神社、桜の名所の名和公園、花の房が一、五mにもなる藤の木がある住雲寺、海水がきれいで遠浅の木料海水浴場などがあり、時期ともなれば大勢の



観光客で賑います。特産物は山海の恵みを生かし、りんご、梨、お茶、板わかめ、さざえ、

うに、などがあり、最近では育てる漁業にも取り組んでおります。

人口は約七千五百人、六十歳以上が約二千八百人(約三十八%)です。

当センターは、平成十三年七月に設立した比較的新しいセンターで、現在の会員は六十四名(平均年齢六十六歳)です。主な就業は、草刈り、除草、施設管理、障子・襖の張替え、マイクロバス運転、学校給食配送、海草の天日干し作業、経理、育苗作業などで、契約金額は約一千万円(平成十五年度)です。

発注者の

方からはクレームを頂戴することもあります、喜んでもらうことの方が多く会員の励みになると共に、センター事業は地域に無くてはならない不可



欠の存在と思えます。

就業機会の開拓、会員の増員、就業品質の向上、自立化、三町センター(大山・中山・名和)の合併など、取組む課題は山積しておりますが、行政・地域社会・連合会のご理解・ご支援を賜りながら、非常にミニミニなセンターであります。元気で楽しく活動しております。

気高町シルバー人材センター

事務局 木下 里美

気高町シルバー人材センターは、昨年九月に会員二十八名でスタートしました。

間もなく一年が経過しようとしている現在、会員数、就業件数共増加しており町内の方をはじめ近隣地域の方々の暖かいご理解を頂いております。



就業状況については、設立当初から受注の多い障子、襖張り作業は、作業日には担当の会員が建具を運んでくるもの、のりなどを準備しておくものと段取りよく作業が始まります。

作業中は皆、真剣で納品前には厳しいチェックをし納めます。作業に一区切りつくと、お茶を飲みながら話しに花が咲きます。このような会員の楽しそうな姿について私も参加したくなる時があります…。また最近は剪定、除草、草刈り等の屋外作業も忙しくしております。作業中は知恵を出し合い、お互いの意見を尊重し、よりよい仕上がりを目指します。

長年培った知恵にはいつも感心させられます。まだまだ皆様のシルバー人材センターの活動には及ばないとは思いますが就業率百%を目指し、

会員皆にシルバー会員になって仲間づくり、健康維持などそれぞれの思いを叶えて頂きたいと思えます。

気高町シルバー人材センターは今年十一月



鳥取市シルバー人材センターと合併します。ようやく地域に定着してきた気高町シルバー人材センターに会員も私も愛着を持っております。合併後、今まで以上に地域に貢献できるシルバー人材センターであるよう会員と共に頑張っていきたいと思えます。

溝口町シルバー人材センター

事務局長 羽田 淳

溝口町は、日本最古の鬼伝説の町として知られ、町の活性化に一役かかっています。町の玄関口でもあるJR伯耆溝口駅や溝口ICに鬼の電話ボックスやモニユメントなどを置き、町のイメージアップを図っております。

その中でとりわけ目立つのは、鬼ミュージアムのブロンズ像です。町を一望する三階建ての台座の上に十八mの鬼が鎮座し



ており、まるで鬼が、町を見守っているようです。又、子供から大人迄楽しめる「鬼つ子ランド」や鬼守橋にあるモニユメントなど、町のいたる所で鬼の姿を見かけることができます。

溝口町シルバー人材センターは、平成十五年三月に設立、会員数は五十五名からスタートいたしました。

二年目を迎え、行政、民間、企業から暖かいご理解をいただき会員一同はりきっています。

就業内容は、草刈り、草取り、庭木剪定、障子張り替え、筆耕、工事宿舍食事賄い等、又技能講習会は九月に合併予定の南部広域シルバー人材センターさんにお世話になっております。

「自主、自立、共働共助」の基本理念を理解し、会員相互の親睦と楽しい就業をめざして努力していきたいと思えます。



会員の広場

シルバー人材センターは 私の生きがい



(株)鳥取市シルバー
人材センター
会員 桂 清一

平成五年十月に四十年間勤めた会社を定年退職したとき、これからの人生を健康で元気に社会参画し、自己開発をすべくボランティアグループ「ひまわりの会」に入会しました。そこでは障害者の方々のお手伝いとして、いろんな行事に参加させていただき、社会的に活動に生きがいを感じていました。

体力は学生の頃からスポーツを続けていたのですが、自信もあり、体調も良く過ぎていました。どうしても運動量が減ったため太り気味になってしまいました。

そこで毎日一時間程度歩くことを日課としていましたが、そんな時知人からグラウンドゴルフを勧められ、早朝から汗を流す日々が続きました。

このゴルフ仲間の一人に紹介されたのが鳥取市シルバー人材センターでした。

平成九年七月に入会し、間もなく事務局の方から希望していた襦袢張りの仕事を紹介され現在も続けさせていただいています。

襦袢張りは若い頃から我が家の襦袢を張っていたので少しは自信があったのですが、実際にやってみると様々な襦袢に出合い勉強の連続です。しかし発注者の方が張り替えた襦袢を見て「正月が来たようです」と感謝され、庭先まで出て「ご苦労様でした」と温かい言葉をかけて見送って下さった時などはセンターで仕事をしていた良かつたと生きがいを感じ新しいエネルギーが湧きあがります。

シルバー人生を楽しく健康で、心豊かに過ごすため、地域社会の輪を仲間と共に広げて行きたいと思えます。

シルバー人材センターに 参加して



(株)岩美町シルバー
人材センター
会員 渡辺 勇

平成九年七月岩美町シルバー人材センター

が発足しました。早速会員登録して仕事に参加いたしました。最初は草刈が主でしたが其の内事務長さんから器械を使ってみてはといわれ使ってみるとおもしろくなってきました。そのうち岩美町の観光地に設置してあるゴミ箱の清掃を頼まれて(月)(金)と一週間に二回ずつ雨が降っても雪が降っても続けました。丸五年間作業しました。終りには専門職のようでした。特に夏場は大変、海水浴客の出すゴミの量にはおどろかされました。

平成十五年十二月に持病の心臓が悪化して県立中央病院に入院しカテーテル手術をして頂きましたが成功しませんでした。家で静養するようになって言われましたが、動脈硬化が進んでいる様でした。当然シルバー人材センターの仕事も休みがちになり他の方の方に代わらせていただきました。近頃パソコンを習いたいと思いついに参加しています。当日は講師先生の親切丁寧な指導で良く解るようになりますが、家に帰ってもパソコンは無いし一晩すぎればさっぱりと忘れ講習の度に初心者です。しかし習っている時や、思うようになってる時は、とても楽しい時間となり、休みがなくても苦になりませんが講習が終わってからはどつと疲れます。此の頃ではシルバー人材センターに大変お世話になっていると感じています。

センターの話題

わたしの生きがい



（智頭町シルバー人材センター）
事務局長 石谷 文一

人はみなシルバー世代を第二の人生と言いますがわたしはそうは思っていない。

人生は一度しかないのだということに胸に刻みこみ、燃えているときが青春であると感じていまでも夢と希望と情熱を失うことなく常勤で理事長職を務めています。

わたしたちシルバー世代の人生経験と知識能力をフルに活用し、斬新なアイデアと共にシルバーならではの活力でもって地域社会のニーズに添えていくこと、また今の社会に欠けたもの、忘れられている大切なものを引き出して補完し次世代に伝える、これこそが地域社会の担い手としてのシルバーの役割であると共に、最高の生きがいであり健康維持の源でもあると思います。

またシルバー人材センターは会員相互の学

習とふれあい、交流の場であると思っています。わたしは多様な趣味を持っていますが、スポーツは年齢的にもつばら観戦に徹しています。その他では碁に将棋、マージャンなどがあります。中でも社交ダンスには特別な思いがあります。なぜなら相手が女性でありますから心も弾み、若さを保つ上でこれ以上のものはないと大いに生きがいを感じています。幸いにわたしはインストラクターの資格を持っていますので、近い将来シルバー会員で仲間を結集してダンスサークルをつくるつもりですが、現在ではシルバーの仕事そのものが趣味であり、生きがいであると言えるような状態です。

（社）米子広域シルバー 社会参加活動

（米子広域シルバー人材センター）

支援コーナー 杉山 恵子

平成十三年度から、三カ年の補助事業として、指定を受けた。

自分の自由な時間を有意義に生きがいのある生活を過ごしていくためには、どうすればよいのか。まずアンケートを実施し、会員が何を求めているかを知ることから始めた。



そして、会員の中に良き指導者があったのでカラオケ、俳句同好会を立ち上げた。ボランティア活動も、国民文化祭を始めとして、福祉施設の餅つきなどにも参加した。又バザーで得た、収益金を児童文化センターの図書購入に寄付をして喜ばれた。この夏には、トライアスロン協会より、協議会関係の協力依頼があったので、安全、健康には十分留意して、参加したいと思っている。

このような中から、自発的な団体「サロン二一」（二一世紀）も誕生した。これは、研修、小旅行、ボランティアなどを行う目的を持ち、規約もつくっている。そして、「サロン通信」も二ヶ月に一回発行している。

しめくりとして、この三月、全会員の趣味と交流の場をもちたいと思い、「おたのしみ会」を開催した。銭太鼓、カラオケ、寸劇、手話など多彩に取り入れて行ったが大成功であった。経費もせめて会場費だけはと整理券を準備した。後はメンバーで負担をと思っていたが、完売できた。残金は全会員に還元するため「グランドゴルフ」の道具を購入し、体力作りが出来ればと思っている。少子化時代を迎え、自分で出来ることは自分で、そして社会参加へと、これが医療費の軽減となり、社会への恩返しだと思ふ。

かりにお金はなくても、生きがいのある、人生を送っていたきたいものと思う。

米子広域シルバー人材センター俳句同好会

孫つれて 生きる喜び野に遊ぶ

岩本 小恵子

手に移る 香りほんのり桜餅

足定 千歳

さらさらと ビルを遠目に猫柳

本江 キクコ

菜の花に 託する一輪利休かな

杉山 恵子

花菜いま 暮色に黄を残しをり

中原 かづを

講習会に参加して

パソコン講習会に参加して

(倉吉会場)



倉吉市

川田 壽雄

ひとむかし前なら、特定の人にしか関係のなかったパソコンも、今ではすっかり生活必需品に数えられるものになっております。

実は私も、文書作成等はワープロを使っておりましたので、今更パソコン操作を勉強することはないだろうと自負していましたところ、自慢のワープロ機器が頻繁に故障するようになり、しかも取替え部品は製造中止のために修理不可能となってしまいましたので、やむなく新機器であるパソコン操作が必要となった次第であります。

幸いにも、シルバー人材センター事業運営の中のシニアワークプログラム（SP事業）により実施されているパソコン初級を受講したが、習得不足のため操作範囲が不充分のため、新聞広告の「パソコン入門講座」を受講

するなど基礎知識習得の機会を求めていました。七月一日から開始の「パソコン中級講習会」が広報されたので、早速受講を申込、受講承認となったところでありました。

講習会日数七日間、講習時間数三十二時間、受講者数十九人でしたが、殆んどの方が初対面ですからパソコン知識程度はわかりませんが、パソコン操作には自信のある方ばかりのようでした。講習会講師の説明等に対する質疑も少なく本当に研究熱心な方ばかりで遅刻、欠勤者のなかつたことです。この度の講習会を受講して、挨拶、年賀状、住所録の作成については、受託に応じられる知識の習得ができたと思っておりますので、講習会関係者の方に改めて感謝申しあげます。

ヘルパー養成講習に参加して

(米子会場)



米子市

矢頭 佳美

今回、ヘルパー三級の講習に参加させていただきますました。

痴呆症だった夫の両親、その世話をする義姉を見ていて、是非共介護の仕事につきたい

と願って居りました。

講義は、聞けば聞くほど、納得のいく、専門職としての知識、心得ばかりでした。

そして弓浜ユートピアでのデイサービスで、多くの方々とスキップをしながら、たくさんのお話しをさせていただき、お一人お一人の目と心にお話しをする事が、どれ程大切な事が、納得しました。

午後は、弓浜真誠会からの訪問介護に同行させていただき、「百の家庭があれば、百の家庭の事情有り」と実感しました。

只々受身で今回の勉強をしていた私でしたが、介護者の側から見る介護だったのが、要介護者の側からも、見る事が、出来たかな？と思います。

今後必ず二級ヘルパーにチャレンジするつもりです。

そして介護者として心を寄せる場所を、間違える事が無い様に、又、自らの心の置き処を見つきたいと願って居ます。

今回の講習に参加させて頂き、講義や、実習を教えて戴いた先生方お一人お一人にお礼を申しあげます。

本当に有難うございました。

そして、一団となって今回の講習を共にした二十人の仲間に、十日間、色々お世話にな

りました。これからも二級目指して頑張りますように！
百万ドルの介護の治療薬・・・笑顔で！

観光ガイド養成講習を受講して

(倉吉会場)



倉吉市

西野 良子

平成十六年度観光ガイド養成講習に参加することを、年令も過ぎ、とまどいしている頃、背中をおして下さった、シルバー人材センターの担当者のすすめもあり、考える間もなく、十六日の開会の日をおかえました。

初日に観光ガイド・ビジョンについての説明があり、ガイドとしての心得につき、あいさつ、言葉、服装等につき話があり、倉吉の歴史、伝統的建造物群保存地区、赤瓦について、市内史跡、周辺温泉地、倉吉パークスクエア、鳥取二十世紀梨記念館、特産物と土産物について、等々学習すること山積みです。

一日、一日がことなく過ぎ、福の神にあえる町並みを通り、頭(ごうべ)を下げつつ気が持たない日もあり、残念に思う日もありまし

た。少しでも尋ねられた人には、自分の解る範囲で答えられると自信をつけつつある日々でした。

今は亡き夫と山口県の旅に出かけた折、林芙美子の文学の道を探ねた時、ガイドの方にめぐり合い説明を聞き旅の一こまが今でも私には残っています。

夫は退職してしまいましたので、倉吉にも観光ガイドが出来、ボランティアで、地域をアピールするお手伝いが出来れば、余生楽しく生きられると、旅から帰り市役所に話しかけ第一期の鳥取県文化財解説委員として活動する様に腕章あすかりながら病魔には勝てませんでした。

私に両親がいつも話していた、間に合う人間になれ、どこでも、どんな時にもすぐ間に合うよう努力と、体力をおしむなの言葉に、現在も惜しむことなくすすんで、おつき合いお接待が少しでも出来るよう、生涯努力を重ねて行きたいと、この講習を受講させていただき、必ずすすんで一歩ふみ出す事が、と、又お客様が倉吉を旅してよかったと心の片隅に残る気持になっただけの様に努力を重ねたいと思う今日の日々です。

ありがとうございました。

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会正会員

名 称	〒	所 在 地	電 話	FAX	代表者
(社)鳥取市シルバー人材センター	680-0823	鳥取市幸町73	0857-22-0050	0857-22-0051	歳岡輝巳
(社)米子広域シルバー人材センター	683-0811	米子市錦町1-110	0859-32-2633	0859-32-5823	宇野治巳
(社)倉吉市シルバー人材センター	682-0864	倉吉市駄経寺町2-8-1	0858-22-0870	0858-23-6101	野島 完
(社)境港市シルバー人材センター	684-0043	境港市昭和町11-17	0859-47-4540	0859-47-4541	足立郁馬
(社)南部広域シルバー人材センター	683-0351	西伯郡西伯町法勝寺170	0859-66-4011	0859-66-5330	中川正昭
(社)智頭町シルバー人材センター	689-1402	八頭郡智頭町智頭1795-1	0858-75-0170	0858-75-2366	石谷文一
(社)岩美町シルバー人材センター	681-0003	岩美郡岩美町浦富1041-1	0857-72-2511	0857-72-2511	太田弘道
(社)湯梨浜広域シルバー人材センター	682-0712	東伯郡羽合町上浅津123-2	0858-35-4130	0858-35-4130	磯江末夫
用瀬町シルバー人材センター	689-1211	八頭郡用瀬町別府96-2	0858-87-2302	0858-87-2369	森 重市
淀江町シルバー人材センター	689-3402	西伯郡淀江町淀江676-2	0859-56-6200	0859-56-6205	高野邦親
北条町シルバー人材センター	689-2103	東伯郡北条町田井46-2	0858-36-4527	0858-36-5056	岸田忠良
中山町シルバー人材センター	689-3111	西伯郡中山町赤坂766-1	0858-49-3012	0858-49-3013	明里好弘
郡家町シルバー人材センター	680-0463	八頭郡郡家町宮谷254-1	0858-72-0021	0858-72-2793	有田 益
国府町シルバー人材センター	680-0142	岩美郡国府町麻生4-2	0857-22-1880	0857-22-1889	太田英夫
江府町シルバー人材センター	689-4403	日野郡江府町久連7-1	0859-75-2942	0859-75-3900	仲嶋勝利
東伯町シルバー人材センター	689-2352	東伯郡東伯町浦安152-3	0858-52-1001	0858-52-1001	米田義人
大栄町シルバー人材センター	689-2205	東伯郡大栄町瀬戸36-2	0858-37-4522	0858-37-4532	竹歳邦安
赤碕町シルバー人材センター	689-2501	東伯郡赤碕町赤碕1113-2	0858-55-7633	0858-55-1137	足立慎夫
日野町シルバー人材センター	689-5131	日野郡日野町黒坂1247-1	0859-74-0338	0859-74-0338	谷本忠光
日南町シルバー人材センター	689-5211	日野郡日南町生山357	0859-82-0223	0859-82-1027	青戸建一郎
大山町高齢者能力活用人材センター	689-3332	西伯郡大山町末長269-1	0859-53-4787	0859-53-4787	提島成一
名和町シルバー人材センター	689-3211	西伯郡名和町御来屋467	0859-54-6077	0859-54-6077	林原彦一
気高町シルバー人材センター	689-0331	気高郡気高町浜村11-1	0857-82-3150	0857-82-1942	地原輝雄
三朝町シルバー人材センター	682-0121	東伯郡三朝町大瀬999-2	0858-43-3515	0858-43-0647	西村武津美

お 願 い

・投稿募集

俳句、短歌、川柳、会員の声

俳句、短歌、川柳は二句(首)まで

投稿ご希望の方は左記までご連絡をお願いいたします。

米子市角盤町一丁目七六

(社)鳥取県シルバー人材センター連合会

郵便番号 六八三〇八二二

電話番号 (〇八五九) 三七二五三一

FAX番号 (〇八五九) 三七二五二七

あ と が き

今回も、関係各位の御協力のお陰で十一号が発行できました。ご寄稿いただいた皆様
に心から御礼申し上げます。これからも紙面の
充実に向けてまいりますので、一層の御協
力ご愛読いただきますようお願い申し上げます。

会 報 鳥 取 第11号
平成16年8月1日 発行

発 行：社団法人 鳥取県シルバー
人材センター連合会
所在地：〒683-0812
鳥取県米子市角盤町1丁目76番地
電 話：0859-37-2531
FAX：0859-37-2537

印 刷：(有)ニスキ印刷
鳥取県米子市灘町3-150
電 話：0859-32-2250